Power Apps / Pages で得点力を強化

PL900 試験では「Power Apps の機能を実証する（20 - 25%)」「Power Pages の機能を実証する（1–5%)」の範囲で Power Apps と Power Pages が出題されます。重要なのは、Power Apps ではアプリの特徴、データソース接続の違い、PowerPages ではページの種類や主要機能の理解です。

Power Apps

アプリの種類

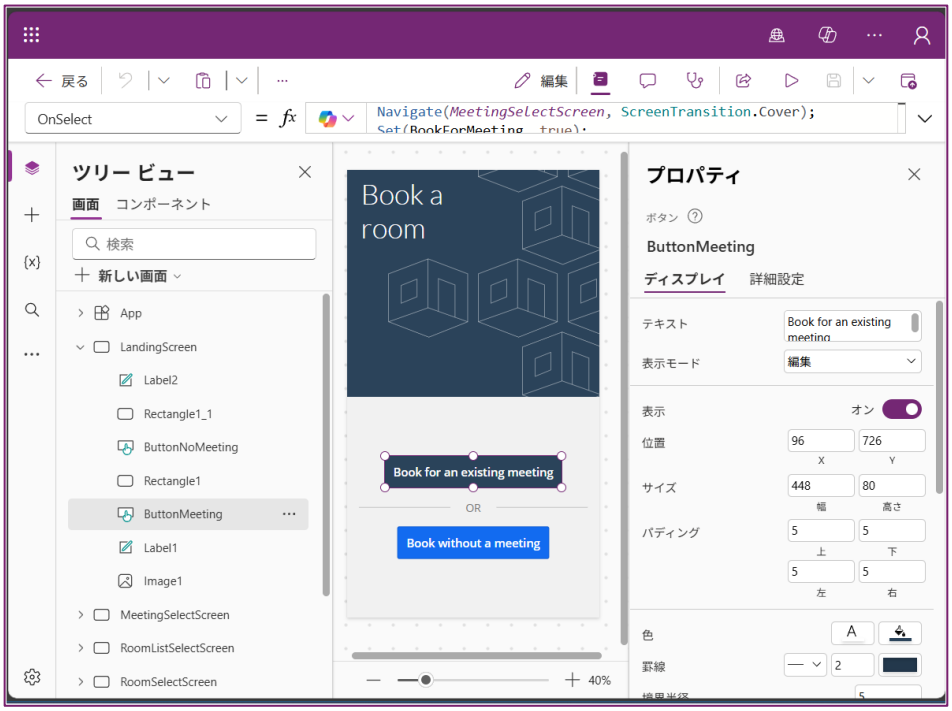
キャンバスアプリ：自由な UI 設計

キャンバスアプリは、「見た目重視」「自由な設計」が可能なアプリ開発スタイルです。
PowerPoint のように画面を構成し、ユーザー体験を重視したアプリが作れます。現場での使いやすさや操作性を重視したアプリ開発に最適で、業務に合わせて画面を設計できるため、現場のニーズに柔軟に対応できます。また、Copilot 機能により、自然言語でアプリの作成や編集を支援する機能が追加されています。
ドラッグ&ドロップでコントロールを配置し、Excel 風の数式でロジックを記述します。

主な特徴：

- デザイン優先アプローチ：UI/UX を自由に設計し、ユーザー体験を重視したアプリ作成が可能
- レスポンシブデザイン：手動設定が必要で、コンテナーを活用してマルチデバイス対応
- 開発速度：短時間でのプロトタイプ作成に適している
- Copilot 連携：自然言語でアプリ作成支援機能を提供

▼キャンバスアプリのテンプレート編集画面



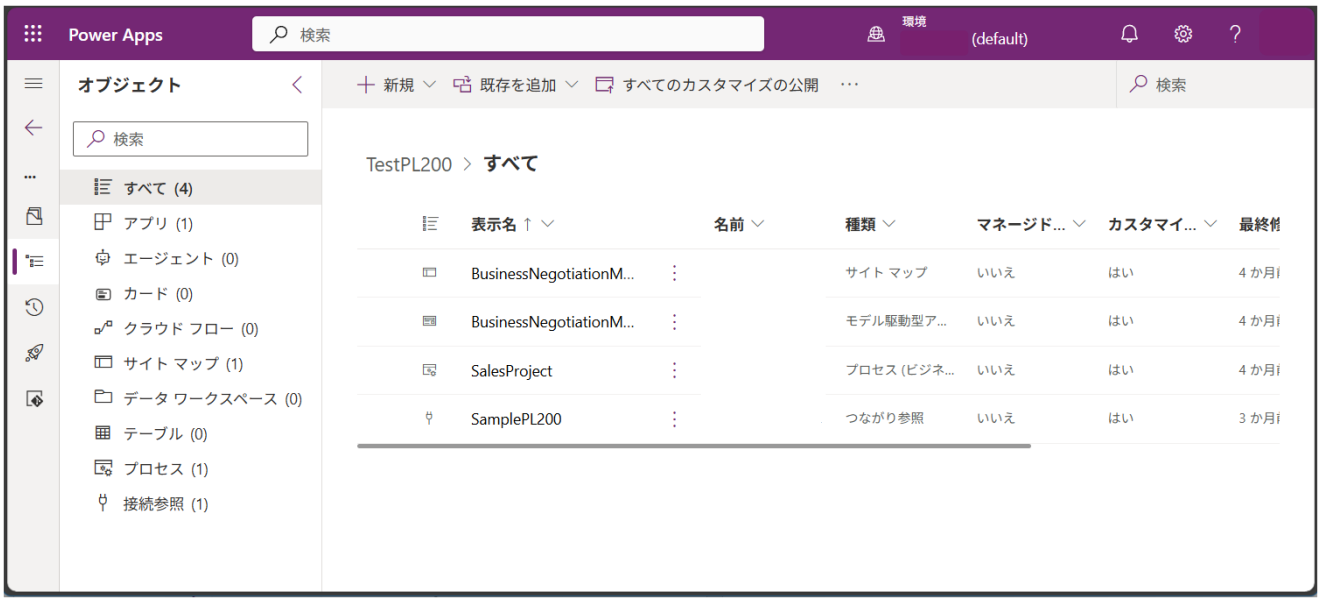
モデル駆動型アプリ：データモデル中心

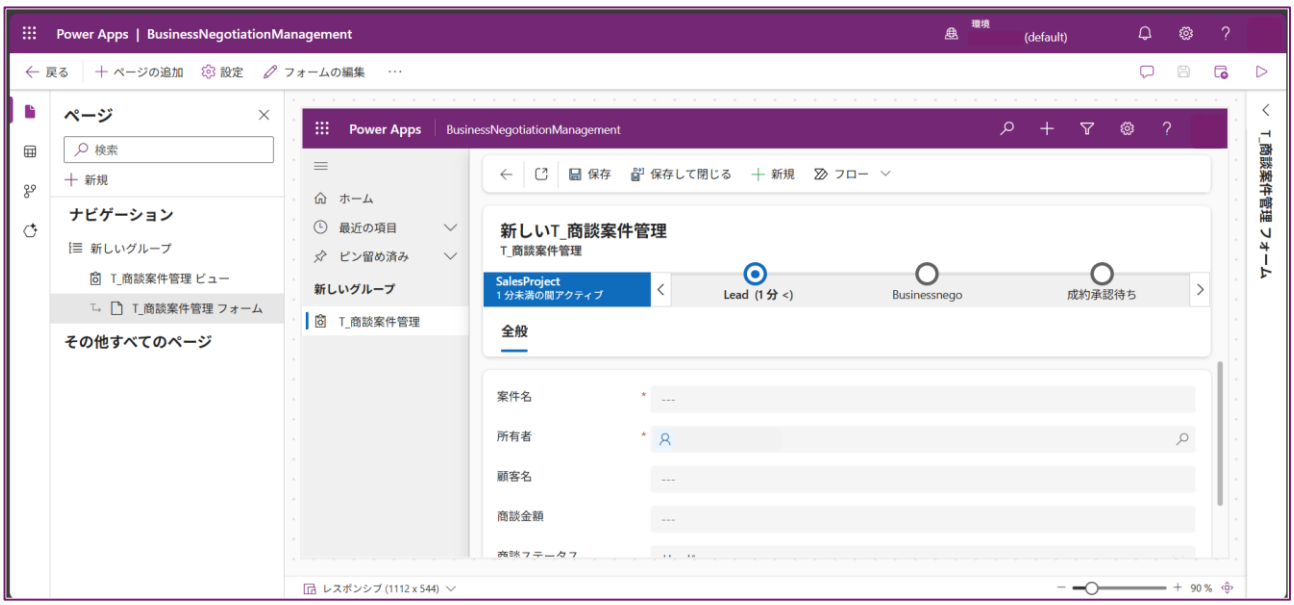
モデル駆動型アプリは、Dataverse のデータ構造を基盤として自動生成され、データ構造や業務ルールが複雑な業務に適したアプリ開発スタイルです。
セキュリティロールやビジネスプロセスフローなど、企業向けの機能が充実しています。業務の標準化・効率化を目的としたアプリに最適で、データの整合性やアクセス制御が重要な業務に向いています。

主な特徴：

- データ中心設計：テーブル、フォーム、ビューが自動的に統合される
- エンタープライズ機能：セキュリティロール、ビジネスプロセスフロー、高度なアクセス制御
- 自動レスポンシブ：デバイス対応が自動的に適用される
- 大量データ処理：500 件以上のデータを効率的に処理可能

▼モデル駆動型アプリ編集画面





アプリ作成（キャンバスアプリ）

コントロール（ボタン、テキストボックスなど）の配置

- ギャラリーコントロール：データソース内のレコードを一覧表示し、画面遷移機能をサポート
- フォームコントロール：レコードの表示、編集、作成を統合的に管理
- スクリーンコントロール：コントロール配置の基盤となる画面要素

式（関数）の使用

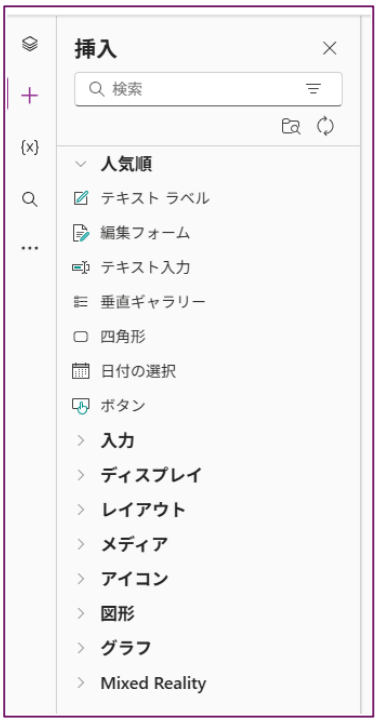
- Navigate 関数：画面間の遷移制御
- Launch 関数：外部アプリケーションとの連携
- データ操作関数：フィルタリング、並び替え、集計処理

データ接続

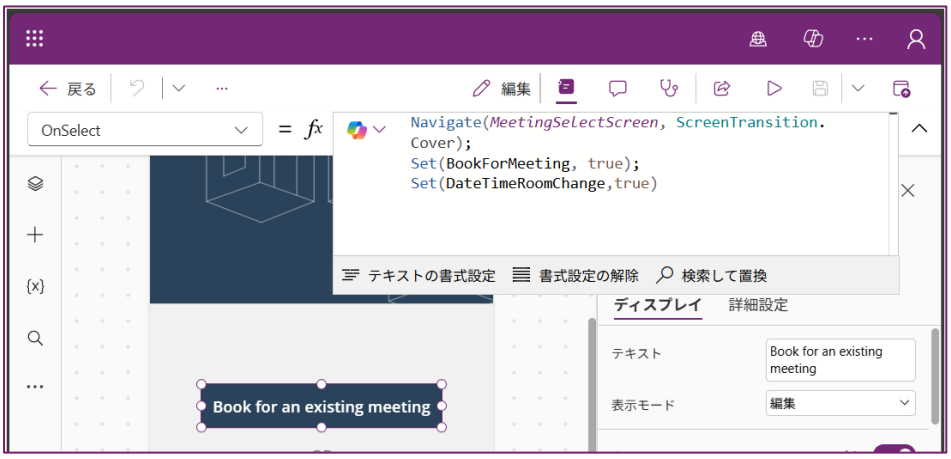
Dataverse、SharePoint、Excel などとの連携

- キャンバスアプリ：コネクタを使用して Excel、SharePoint、SQL Server、Dataverse など多様なデータソースに接続可能
- モデル駆動型アプリ：Dataverse のみをデータソースとして使用、データ整合性と高度なビジネスロジックを実現

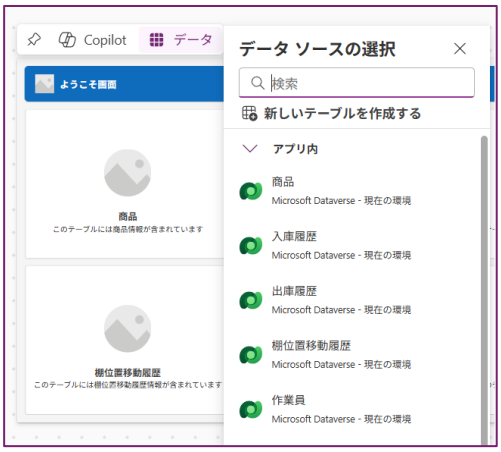
▼コントロールメニュー



▼数式バーで式の編集が可能



データソースの選択▶



Power Pages

Power Pages は、外部ユーザー向けに安全な業務用 Web サイトを構築できるローコードツールです。Dataverse と連携し、フォームやリストを通じてデータのやり取りが可能です。
セキュリティとデータ連携を重視した外部公開型の Web アプリケーションで、Entra ID や外部 ID プロバイダーとの認証連携も可能です。

ページの種類

スタンダードページ：テキストや画像の表示

静的コンテンツの表示に特化したページタイプです。企業情報、製品紹介、お知らせなどの情報提供に活用されます。

フォームページ：データの入力・編集

Dataverse との連携により、ユーザーからのデータ収集や既存データの編集機能を提供します。お問い合わせフォーム、申請書類、登録フォームなどに活用されます。

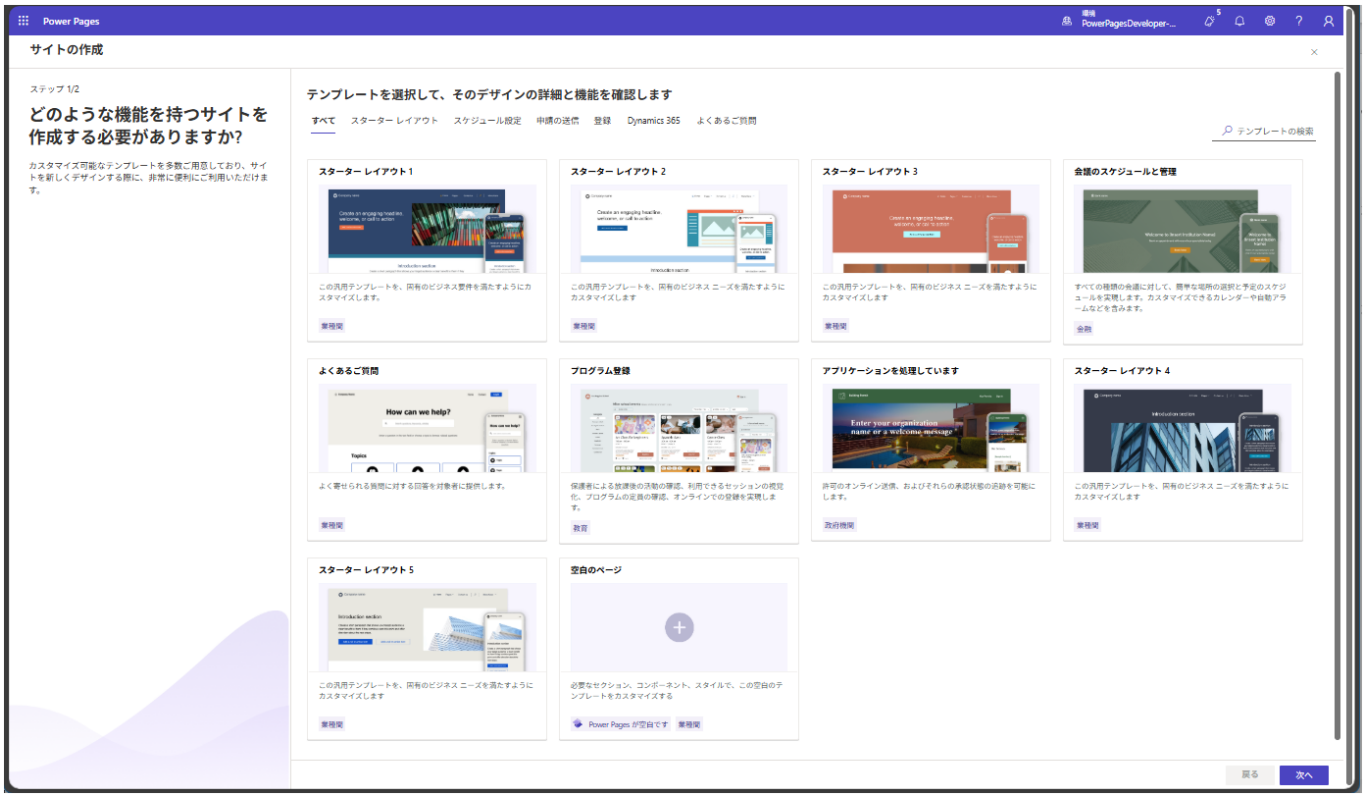
リストページ：データの一覧表示

Dataverse に保存されたデータを一覧形式で表示し、検索・フィルタリング機能を提供します。

カスタムページ：HTML や JavaScript による柔軟な構成

高度なカスタマイズが必要な場合に、プロ開発者向けの機能として提供されます。

▼テンプレートの選択画面



機能と連携

デザインスタジオ：ドラッグ＆ドロップで編集

Power Pages デザインスタジオは、ローコードでビジネス Web アプリを構築できる直感的なインターフェイスです。Power Pages のテンプレートは、重要な機能です。

主要機能：
- テンプレート：業務シナリオに基づく多様なテンプレートを提供
  Web サイト構築の効率化と標準化を支援
  用途に応じて選択可能
  ・シナリオベースのテンプレート（申請、登録、問い合わせ）
  ・空のテンプレート（完全カスタム設計）
  ・Dynamics 365 テンプレート（業務アプリケーション向け）　など
- ビジュアル編集：キャンバス部分にコンポーネントをドラッグ&ドロップで配置
- リアルタイムプレビュー：編集内容の即座確認

アクセス制御：Web ロールと認証プロバイダー（Entra ID など）

- Web ロール：ページレベルでの詳細なアクセス権限設定
- テーブル権限：Dataverse データへの操作権限制御
- 認証プロバイダー：Entra ID、外部 ID プロバイダーとの統合認証
- サイト表示方法：パブリック/プライベートサイトの切り替え

Power Automate 連携：フォーム送信時に通知や Teams 投稿などの自動化が可能

フォーム送信をトリガーとして、自動的にワークフローを実行できます。通知送信、承認プロセス、Microsoft Teams への投稿などが可能です。

▼ページのコンテンツやコンポーネントの選択画面